

(参考資料)令和3年度 主要施策の成果に関する報告書 主要事業の前年度比較等

【農林水産部門】

(単位 千円)

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果、今後の課題	参照ページ 数
1	農産園芸共同利用施設整備事業 (産地振興課)	38,120	2,013,204	1,975,084	コロナ禍の影響で、令和2年度に資材の調達遅延等が生じて繰越となった事業の補助実績の増 1,975,084	(事業の成果) 麦の播種機等の機械、トマト生産施設等の導入やナシの集出荷貯蔵施設等、10件の整備を支援し、農業生産基盤の強化が図られた。 (今後の課題) 繰越の事業数が多いことから、工程管理表により事業の進捗状況を把握して、早期の工事竣工に努める。	R3:186 R2:176
2	茨城かんしょトッパー産地拡大事業 (産地振興課)	374,269	166,301	△207,968	コロナ禍の影響で資材の調達遅延等が生じ、事業が繰越となったことによる補助実績の減 △207,968	(事業の成果) 荒廃農地等の再生や農地の賃貸借を進めた結果、令和4年産向けのかんしょ作付け面積は201ha拡大した。(令和2年度実績201ha) (今後の課題) 引き続き、かんしょ栽培拡大に意欲的な大規模法人、生産者等に対して活用できる農地のマッチングを図る必要がある。	R3:186 R2:177
3	家畜伝染病予防事業 (畜産課)	1,228,870	407,321	△821,549	家畜伝染病の発生を防止したことによる防疫措置に係る費用の減 △792,655	(事業の成果) 家畜伝染病の発生予防対策を実施したことで、令和3年度は豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等家畜伝染病の発生防止が図られた。 (今後の課題) 引き続き飼養衛生管理基準の遵守徹底指導等による、豚熱や高病原性鳥インフルエンザの発生予防。	R3:188~189 R2:179

No	事業名 (担当課)	R2決算額	R3決算額	差引額	主な増減理由	事業の成果、今後の課題	参照ページ 数
		A	B	B-A			
4	優良繁殖和牛群整備 対策事業 (畜産課)	127,257	134,891	7,634	受精卵処理施設の施設整備による増 7,634	(事業の成果) 275頭の和牛繁殖雌牛の導入等を支援し、優良な繁殖雌牛の増頭が図られたとともに、県北家畜保健衛生所に受精卵処理施設を整備したことで、受精卵処理技術の活用による優良な子牛の安定生産が図られた。 (今後の課題) 導入した優良和牛繁殖雌牛やその受精卵から生産された雌子牛の県内保留支援。	R3:187 R2:178
5	茨城モデル水稲メガ ファーム育成事業 (農業経営課)	98,060	97,229	△831	事業実施地区の減少による交付 対象面積の減(4か所→3か所) △831	(事業の成果) 3地区で約70haを新たに集積し、河内町、結城市においてはメガファーム(100ha超の水稲経営体)の育成を実現。 (今後の課題) 本県水田農業における所得や生産性の向上のため、本事業で得られた学びを活かし、集約に重点を置いて、新たなメガファームの育成を支援。	R3:191 R2:181
6	いばらきオーガニック ステップアップ事業 (農業技術課)	3,332	63,313	59,981	ハウス等資材や機械リースの導 入支援の実施による増 (R2繰越) 59,401	(事業の成果) 令和2年度に参入を支援していた有機施設園芸法人(1件)の農地などのマッチングが令和3年度に成立。パイプハウス等資材と生産機械のリース導入を支援することで、県北地域の有機モデル団地の取組が進展した。 (今後の課題) 引続き、県北地域での有機農業拡大志向者の発掘と農地のマッチングを実施する必要がある。	R3:192 R2:182
7	いばらき農業アカデ ミー事業 (農業技術課)	23,091	24,230	1,139	新型コロナウイルス感染症対策 に係る消耗品の購入による増 682 研修施設の修繕による増 623	(事業の成果) 本県農業を牽引する優れた農業者を育成する体系的、総合的な学びの場の提供を行い、31講座を開設、延べ3,388人が受講した。 (今後の課題) 新型コロナウイルス感染症対策と講座の開催を両立した、新しい生活様式に適合したアカデミー運営が課題である。	R3:193 R2:183

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果、今後の課題	参照ページ 数
8	高精度森林情報基盤 整備事業 (林政課)	129,569	94,412	△35,157	航空レーザ測量による森林情報 の整備面積の減 (R3:最終年度) △35,157	(事業の成果) 広範囲の森林情報(樹種、本数、材積、地 形等)が把握でき、規模拡大に意欲的な林業 経営体による森林経営の集約化が促進され た。(H29:約2,300ha→R3:約13,500ha) (今後の課題) より多くの経営体が高精度な森林情報を有 効に活用できるよう、研修や個別指導を行う ことにより、森林経営の集約化を加速する必 要がある。	R3:200 R2:190
9	造林事業 (林業課)	720,082	643,194	△76,888	間伐等に係る森林整備の事業量 の減 △76,888	(事業の成果) 再造林や間伐等の森林整備を1,297ha実施 したことにより、森林の持つ公益的機能が維 持された。 (今後の課題) 林業の成長産業化や森林の持つ公益的機能 の維持・増進に向け、再造林等の森林整備を 一層進めていく必要がある。	R2:192 R3:202
10	県産シラス競争力強 化対策事業 (新型コロナウイルス 感染症対応) (漁政課)	-	15,336	15,336	県産シラスの競争力強化に資す る事業実施による増 (R3新規) 15,336	(事業の成果) 沿岸小型船漁業の主力魚種であるシラスの 生産性向上(品質改善手法の開発・生産工程 改善プランの作成)や特産品としての魅力の PRを行うことで、新型コロナウイルス感染症 収束後に備えたシラスの振興及び地域水産業 の活性化が図れた。 (今後の課題) 作成したロゴ・キャッチフレーズを使用し たフェア展開及び生産性向上手法(品質改善 手法・生産工程改善プラン)の現場普及。	R3:205 R2:-

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果、今後の課題	参照ページ 数
11	津波防災対策緊急整備事業 (水産振興課)	941,138	538,245	△402,893	防潮堤整備完了個所数増に伴う 事業費の減 △402,893	(事業の成果) 波崎地区の防潮堤整備(L=540m)・工損補償が完了し、漁港背後地の安全確保に寄与することができた。 (今後の課題) 残る大津地区の防潮堤整備の進捗、工事竣工に努める。	R3:208 R2:198
12	鳥獣被害防止総合対策事業 (農村計画課)	133,691	98,496	△35,195	有害鳥獣(イノシシ)の捕獲活動経費に対する補助の減 △33,084	(事業の成果) 電気柵等の整備や有害捕獲の促進により、農作物被害金額が減少。 (R1:458百万円→R2:450百万円) (今後の課題) 被害拡大地域等での被害防止対策の強化。	R3:196 R2:187
13	農業集落排水施設接続支援事業 (森林湖沼環境税活用事業) (農地整備課)	33,159	38,888	5,729	霞ヶ浦流域における農業集落排水施設への接続に関する補助件数の増 5,729	(事業の成果) 霞ヶ浦流域の農業集落排水施設接続率の向上 R3末接続率:83.8%(前年度比1.2%増) (今後の課題) 霞ヶ浦流域の接続率は県平均(R3末86.4%)と比べ低いため、更なる接続率向上が必要。	R3:198 R2:188